

# ふれあい便り

2023年 慰安旅行特別編

株式会社ホニック  
https://www.phonic.co.jp  
有限会社ピュアホニック  
春日井市新開町字平瀬 81-4  
TEL : 0568-32-7838  
FAX : 0568-32-4221

## コロナが明け、4年振りの…

4年ぶりの慰安旅行、実施！マスクが解禁されコロナが五類へと移行し、事実上コロナ明けしました。とはいえまだまだ油断は出来ません。今年も慰安旅行は無いということを前提に、年明けの大クジ引き大会(ふれあいだより2月号参照)も行われたわけですが、その2ヶ月後の4月に急遽、慰安旅行の実施が決まりました。編集者も大変驚いております。実は次に慰安旅行が実施されるまでの間に、従来の慰安旅行の運営形態を変えて行こうという話が出ていたのです。今までは従業員絶対参加でしたが、参加の有無を自分の意志で選択できるように変えていこう、と考えていました。

ホニックは出張の多い会社です。慰安旅行実施日に出張が被ることもままありますが、よほど遠い出張先でない場合、たとえ到着が夜になってでも社用車を運転してもらい、慰安旅行先まで合流してもらっていました。少々、負担が大きいのではないかと、令和という時代に絶対参加はもうあまり見かけないことを考え、時代に取り残されないよう、どのように運営していくかをコロナ禍中に考えていたところでした。4月に急遽慰安旅行の実施が決まったため、今回は従来通りの絶対参加となりましたが、次回からどうしていくかはアンケートを取り、従業員たちの意見を取り入れながら、みんなが楽しく、幸せになるような形に出来れば、と考えています。

とはいえホニックの慰安旅行は行きたい派が多数でしょう。

何故ならとびきり美味しい旅だからです。グルメ旅行といっても過言ではありません。

花より団子、色気より食気、一中節より鯉節のホニック従業員(言い過ぎ)にとっては最高の旅ですからね！さて、前置きが長くなりましたが、今回は長野県諏訪の旅です。近場ではありますが、旅行会社さんと慰安旅行実行委員さんが考えてくれた2日間のプラン、その思い出をお楽しみ下さい。

## 1日目

9:30 出発！午前中は移動に費やし、お昼のお食事処までひたすら走行。一日目のお昼は「囲炉裏端料理」です。鮎、しいたけ、じゃがいも、たまねぎ…囲炉裏の炭でじっくりと焼かれた食材達。香ばしさが最高です。ピリ辛のお鍋、とろろご飯、馬刺しも美味でした。

編集者はお鍋を3回おかわりしてしまいました。(終わりの始まり) サービスエリアの伊右衛門カフェで桃果実入りヨーグルトも飲み…。お腹を満たしたところで観光一か所目、諏訪大社上社へ。

7年前も訪れた…という前提で添乗員さんが話をしてくれましたが、おそらくですが我々は初めてです(笑) 雷電の銅像を見ながら、こんなところ来たことあったっけ…？と社長にも小声で聞かれました。

安心して下さい、ちゃんと初めてです。



←シーサーにも見える狛犬。雷電と狛犬に別れを告げ、お次は高島城へ。高島城は小さなお城でしたが、お庭が緑豊かでも癒されます。地元の子供達の遊び場でもあるらしく、子供達の声で賑わっていました。明らかに高島城の備品っぽいもので無邪気に遊ぶ子供達を眺め、大丈夫なのかな…と密かに心配な編集者でありました。壊さないようにね…！ちなみに高島城はかなり無理をして築城したらしく、過酷な労役に苦しんだとのこと。

そんなこんなで1日目の観光は終了、今回のお宿に向かいます。今回泊る旅館は諏訪温泉「ぬのはん」。コロナ禍になりどんどんと旅館が全室禁煙になっていく中、喫煙可の旅館を旅行会社さんが一生懸命探してくれました。なんとこの旅館も我々が泊まる日を最後に全室禁煙になるんだとか。滑り込みセーフ…！今後は旅館探しに一番苦労しそうですね。



## 宴会開始♡

18:30 宴会開始！今年から宴会も全体的に簡略化。大騒ぎするというよりもゆっくりと食事とお酒を楽しむ方向へとシフトしました。その年の新入社員には新人芸をしてもらうことが伝統ではあったのですが、基本的に宴会芸などは希望者のみということに。というわけで個人の新人芸はありませんが、



製造部の若手二人が新人4人(前回の慰安旅行後に入社した従業員も含む)を率いて出し物をしてくれました！お題を質問形式で出題し、スケッチブックを渡した新人4人に答えさせるというものです。質問に答えるだけ？と思うかもしれませんが、これはつまり大喜利を求められていると言っても過言ではありません。(編集者の偏見) 解答発表の際に交互にしても一番端の人はオチを任されることになると思うのですが、不運にも両端に座ってしまったのはK林さんとS元さん。はたしてお二人の運命やいかに…。質問内容はシンプル。おかしなことを聞かれることもありません。でも、改めて聞かれたら即答出来なさそうな良い質問ばかりでした。どんな質問だったか、4人の回答も含めて編集者の独断と偏見でおもしろいと思ったものをいくつか紹介いたします。

Q. あなたの長所は？ A. K子「日本語が上手なこと」

ナイジェリアとのハーフのK子さん。どうしても初見だと日本語お上手ね～と言われることが多いのだそう。それならいっそ長所という事にしよう！とこの回答を。ウィットにとんでいておもしろい！

Q. 欲しいものはなんですか？ A. A木「クイックルワイパー」

皆さんがそれぞれ「仕事」や「知識」など真面目なことを答える中で、まさかの日用品。A木さんは物静かな青年であまりふざけない印象でしたが、大喜利が凄く上手くて驚きました。こんな才能を隠し持っていたとは…意外な一面が見られるのも慰安旅行の醍醐味ですね！

Q. 今までの人生で会った人の中で一番魅力的な人は？

A. K林「N山さん」 A木「中学の同級生」 K子「ロナウド」 S元「M利部長」

K林さんは上司のN山さんを。これはふざけて言っている響きもあり、N山課長からいじってるやん！とツッコミを入れられていました。K林さんは主にオチを任されてしまい、何かおもしろいことを言わなければならないというプレッシャーで頭真っ白になってしまっている様子が微笑ましく、見ている側としてはとても楽しかったです。本人はというとガンガンとお酒を飲んでいました。

続いてA木さんは中学の同級生。物凄くおもしろい人で、そのおもしろさに影響されて自分もおもしろい人間になろうと思ったのだとか。立派な大喜利上手になりましたよ！

K子さんはクリスティアーノ・ロナウド！長年サッカーをしていたK子さんには納得の解答ですね。

中学のとき名古屋に来日したロナウドに近付くため、フェンスを乗り越えて侵入を試み摘まみ出されそうになったところ、ロナウドは優しくサインをくれたという話を披露してくれました。K子さんは解答全てにオチのついたエピソードがあり、とてもお話上手でした。これも知らなかった一面です。

S元さんは上司であるM利部長を。S元さんは欲しいものはなんですか？の質問の際に「知識」と答えていました。M利部長は、自分の求める知識を豊富に有している尊敬する人だ。と真摯に答えてくれました。とうのM利部長はありがとね〜と軽く言っていました。部下からこんな風に思われるのはとても嬉しいことです。

回答が上司から始まり上司で終わる、非常に収まりのいい締めでした。4人の解答バランスがとても良く、大いに盛り上がりましたね。企画してくれた製造部のお二人、ありがとうございました！



落ち着いたところで、お夕飯はこちら。編集者の偏見で旅館で出てくるお肉は控えめなことが多い気がしていたのですが、これはなかなかのお肉…！炊き込みご飯もとっても美味しかったです。

この夕飯の炊き込みご飯に行き着くまでにお腹いっぱいになってしまう人が多いらしく、おにぎりにして部屋に持って帰ってもいいですよ〜と中居さんが言ってくださいましたが、編集者は問題無くペロリしてしまいました。若手社員は比較的少食のイメージがあります。皆さんどうでしたか？

食事が落ち着いてきたところで恒例の社長とじゃんけんへ。初めて参加する人は大抵勝つのですが、例に漏れず初参加の皆さんに賞品が行き渡った気がします。これが無欲の勝利なのでしょうか？



宴会も終盤を迎えそろそろお開きムードとなった頃、社長からカラオケのリクエスト。リクエストされた社員は勿論、ホニックの東方神起ことR課長です。

このふれあいだよりでも幾度となく紹介してきましたが、初聴きでは上手すぎて絶対に驚くことができる歌唱力！ホニックに来て初めて歌ってくれた曲、AIの「Story」を披露してくれました。締めに相応しい美声でした…。

宴会終了後は温泉へ！編集者はすっかり疲れて入浴後は部屋で大の字になっていましたが、体力のある社員達は卓球に勤しんでいたようでした。

2階全体に響き渡るような大盛り上がりだったようで、ホニック以外の宿泊者がほぼ居ない平日で良かったです(笑)

## 2日目

目をしょぼしょぼさせながら朝ごはんを食べ、9:00に旅館を出発！



2日目のメインは観光ではなく昼食のお肉なので、観光は松本城の一か所のみ。城の中まで入り観光する組と、入り口で景観を眺めてお土産巡りをする組として分かれることに。編集者はお土産組で、お昼前だと言うのにずっしりさつまいもシェイクを飲んだりおやきに心を奪われたりなどしていました。お土産ロードから帰ってくると、社長が社員達にソフトクリームを購入してくれているところに遭遇。しれっとワイご馳走様です！と混じることも出来たのですが、さつまいもをキメたあとにソフトクリームまで食べたら昼食が入らなくなるかと思い、断腸の思いで断念。いやでもソフトクリームなんてほとんど液体なんだし混じればよかったかな…なんて

思いつつ松本城にさよならを告げ、いよいよメインイベントである昼食へ！会場は「牛鮮厨房代官山」さん。普段はディナーのみ営業なので貸し切りです。街並みが一望できる素晴らしい席に通され、まずは前菜からスタート。カルパッチョから始まりお野菜、ロブスター、そしてエスカルゴへ。エスカルゴは皆さん知っての通り、かたつむりです。基本的にゲテモノが大丈夫な編集者ですがエスカルゴは見た目が、なかなか、許しがたい…。しかし、味が美味しいのは分かっているので目を瞑って食べました。美味しい！でも気持ち悪い！(笑)エスカルゴ初体験の方も何人かいたと思いますが、皆さんはどうだったのでしょうか。美味しい気持ちの方が勝ちましたか？



事前にパンかご飯かをアンケートしていたのですが、メインのお肉が来るよりかなり前にパンが途中で提供されました。これはアンケートとは違うパンなのだろうと判断してパンもモリモリ食べていたのですが、どうやらアンケートのパンだったことを後から知りました。そして勿論ご飯もお肉と共に食べました。流石に食いしん坊が過ぎる。美味し過ぎるお肉とデザート、本日最後のアルコールを嗜み、名残惜しいですが代官山さんに別れを告げ、愛知県へとバスを走らせます。編集者は途中サービスエリアで念願のソフトクリームも食べました。体重計に乗ることは考えたくありません。お腹も満たされ血糖値も爆上がりし、心地良い疲れに身を任せながらバスに揺られているとポツポツと小雨が降り出しました。旅行中、持ちこたえてくれた天候にも感謝です。ホニックに到着する前に社長による挨拶でピシッと締めてもらい、4年振りのグルメツアーもとい慰安旅行はハプニングもなく大成功で終わったのでした。来年からどのような形で運営して行くかはまだ未定ですが、皆さんが納得する嬉しいイベントにしたいと思っていますので、よろしくお願いいたします！

